令和８年度　群馬県高等学校サッカー選手権大会　兼
第１０５回全国高等学校サッカー選手権大会群馬県大会　要項

１　主　　催　群馬県教育委員会　群馬県高等学校体育連盟　(公社)群馬県サッカー協会　群馬テレビ

２　主　　管　群馬県高体連サッカー専門部

３　後　　援　読売新聞　前橋市教育委員会　高崎市教育委員会　伊勢崎市教育委員会　太田市教育委員会
安中市教育委員会　邑楽町教育委員会

４　期　　日　令和８年　９月　５日(土)・１２日(土)・２０日(日)（一次予選）
１０月１７日(土)・２４日(土)・３１日(土)
１１月　３日(火祝)・８日(日)・１５日(日)（決勝トーナメント）

５　会　　場　アースケア敷島サッカー・ラグビー場　他

６　競技規定　（１）２０２６年度(公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。
（２）選手は、試合開始前に届け出た交代要員１１名の中から５名まで交代することができる。
（３）脳震盪による交代（再出場なし）を次の通り使用することができる。
ア　１試合において、各チームは最大１人まで「脳震盪による交代」を行うことができる。
イ　「脳震盪による交代」は、その前に何人の交代要員が使われているかにかかわらず、行うことができる。
ウ　「脳震盪による交代」が行われたならば、相手チームは、いかなる理由であっても「相手チームの脳震盪による交代に伴う追加の交代」を１人行うことができる。
エ　「脳震盪を受傷した、または、その疑いが生じた直後」や、「フィールド上での診断、またはフィールド外での診断後」や、「競技者が、その時より前に診断を受け、競技のフィールドに戻った場合を含め、それ以外で脳震盪を受傷した、または疑われるとき」はいつでも交代できる。
オ　「脳震盪による交代」と「相手チームの脳震盪による交代に伴う追加の交代」は異なる色の交代カードまたは用紙を用いて、主審/第４の審判員に知らせる。
カ　脳震盪を起こした競技者は、PK 戦を含むその試合の残りの時間に出場することができない。また、できる限り、更衣室や医療施設に関係者に付き添われて行かなければならない。
（４）延長戦を行うラウンドより、交代回数の制限を設ける。
ア　試合中（80 分間）の選手交代回数は３回までとする。（１回に複数人を交代することは可能）
イ　ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバル、延長戦のハーフタイムでの選手交代は交代回数に含まれない。
ウ　延長戦に入った際、選手交代の機会が１回追加される。
エ　試合中（80 分間）の交代回数（３回）のうち、残っている交代回数は延長戦に持ち越される。
オ　延長戦に入ったとき、さらにもう１人（６人目）の交代が出来る。
カ　脳震盪を起こしたと判断された場合の交代は、交代回数の制限にカウントしない。ただし、通常の交代と同時に行った場合は交代回数にカウントされる。
キ　チームが「脳震盪による交代」を行った場合、相手チームは１人の「相手チームの脳震盪による交代に伴う追加の交代」を行うことができ、１回の「追加の交代」の機会を得る。この追加の交代の機会は、「相手チームの脳震盪による交代に伴う追加の交代」のためにのみ使うことができ、「通常の交代要員」には使うことができない。
（５）本大会において退場させられた者は、次の１試合に出場できない。ただし、退場の理由によっては、今大会の以後の試合に出場できない場合がある。
（６）ベンチに入ることができる人数は、選手１１名（交代要員）および役員５名計１６名を最大とする。
（７）本大会で警告を２回うけた者は、次の１試合に出場できない。
（８）１次予選の警告の累積は、決勝トーナメントに持ち越さない。
（９）決勝トーナメント３回戦までの警告の累積は、４回戦に持ち越さない。
(10) 落雷時には、別紙「落雷事故防止対策についての対応」による。

7　競技方法　（1）トーナメント方式による。
（2）試合時間：一次予選は８０分（インターバル１０分）とし、勝敗の決しない時は、ペナルティーキック方式により次回に進出するチームを決定する。ただし、代表決定戦において、勝敗が決しない時は、２０分の延長を行い、なお決しない時は、ペナルティーキック方式で決定する。決勝トーナメントは８０分（インターバル１０分）とし、勝敗が決しない時は、２０分の延長を行い、なお決しない時は、ペナルティーキック方式で決定する。

8　参加資格　（1）選手は学校教育法第１条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
（2）選手は群馬県高体連に加盟している高等学校生徒であること。
（3）２０２６年度（公財）日本サッカー協会及び(公社)群馬県サッカー協会に加盟登録された高等学校チームで、当該団体に登録された生徒であること。
（4）年齢は平成１９年４月２日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技３回までとし、同一学年での出場は１回限りとする。なお、出場とは大会や試合エントリーではなく試合出場を指す。
（5）チームの構成は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
（6）以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。ただし、全国大会への出場権はないものとする。
ア　部員不足に伴う合同チーム
原則、全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規定」と全国高等学校体育連盟各競技専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同ガイドライン」に準ずる。
イ　統廃合対象校による合同チーム（統廃合完了前の２年間に限る）
なお、「競技別部員不足に伴う複数校合同ガイドライン」は別紙参照。
（7）ア　転校後６か月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、群馬県高体連会長の許可があればこの限りでない。
イ　高体連加盟チームに所属していた選手は他校において６ヶ月間は出場できない。
ウ　転校の有無にかかわらず、他の連盟から高体連加盟チームに移籍する場合は上記アに準ずるものとする。ただし、この規定ウの適用は当該年度内に限るものとする。
追記事項
ウの移籍とは登録変更（抹消→新規登録）を指す。適用例を以下に示す。
例１．当該年度内に登録変更を完了した場合
→登録変更後６ヶ月間は試合に出場できない。ただし、年度を越えて適用しない。
例２．当該年度末に継続登録をせず、登録を抹消した場合
→次年度に新規登録完了後すぐに出場できる。
（8）外国人留学生の登録は４名までとし、試合出場は２名までとする。
（9）参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。
(10) 登録選手２２名は、選手証を持参し、８０分前に本部でチェックを受ける（決勝トーナメントより）。
(11) 各チームの登録選手は、原則として協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
※選手証とは、協会ＷＥＢ登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやＰＣ等の画面に表示したものを示す。
(12) 試合開始８０分前に、マッチコーディネーションミーティングを行う（決勝トーナメントより）。

9　傷病処置　競技中の傷病の応急処置は主催者が行うが、以後の処置については参加校で行う。

10　参加料　3，000 円(kickoff で徴収)

11　出場制限　（1）１校から複数チームの参加は認めない。
（2）チームは、監督１名、選手２５名以内とし、当日メンバー表記載の選手とする。なお、引率責任者は校長の認める当該校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第７８条の２に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出ること。監督は校長が認める指導者とし、それが「部活動指導員」の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

（3）選手登録日　　一次予選参加校　　9月　2日（水）
一次予選突破校およびシード校　　9月２４日（木）
※提出した登録表の番号と出場する選手の番号は一致していなければならない。

（4）選手登録の変更について　①期　　日：第1回　１０月　７日(水)
第2回　１０月２８日(水)
②変更人数：１回につき４名まで（全チーム対象とする）
③提 出 先：吉澤副委員長（渋川）
④提出方法：Google フォームにて全チーム提出
※ただし、ＧＫについて、ケガ等による場合はこの限りでない。

12　組み合せ　一次予選　　令和８年７月　１日(水)　群馬県公社総合ビル　多目的ホール
決勝トーナメント　令和８年９月２８日(月)　群馬テレビ

13　参加申込　別紙参加申込書を令和８年４月２２日(水)までに、阿部先生（伊勢崎）まで提出する。なお、(公財)日本サッカー協会登録一覧表を提出しても良い。

14　備　　考　（1）ユニフォームについて
①仕様については(公財)日本サッカー協会制定の「ユニフォーム規定」による。
②本競技会に登録した正・副２組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
③正・副の２色については明確に異なる色とする。
④主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
⑤前項の場合、主審は、両チームの各２組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
⑥チームキャプテンは、アームバンドを着用しなければならない。
（2）本大会の優勝校は、第１０５回全国高等学校サッカー選手権大会に出場する権利を得る。
（3）第１０５回全国高等学校サッカー選手権大会組合せ抽選会　１１月１６日（月）。
（4）プレミアリーグ所属チームはベスト４シードを、プリンスリーグ所属チームはベスト８シードを保障する。
※　詳細は別途定める。
（5）県１部リーグ所属チームは一次予選を免除される。令和８年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技県予選における３回戦（ベスト１６決定戦）の敗退チームは、一次予選でシードされ、上位１６チームは一次予選を免除されるが、県１部リーグ所属チームの勝ち上がり状況によっては、この限りではない。
（6）本大会における上位２４チームは、令和８年度群馬県高等学校サッカー新人大会でシードされる。
（7）試合球について（マルチボールシステムが望ましい）
【1 次予選代表決定戦：ミカサ　アルムンド、決勝トーナメント：ミカサ　アルムンド】

15　その他